



地域住民らでにぎわった農家食堂「たのしいところ」の1周年記念イベント=12日、山口市

楽しいひとときを過ごした。  
ユニークな店名は、スタッフでどんな店にしたいか話し合ったときに拳がった「楽しいところ」との意見をそのまま採用した。店長の佐伯秀子さん(63)は「1年はあつという間だった。『本当にたのしいところですね』と言ってくれるお客様もいる。おいしいと言つてもうえるのが励みになる」と話した。

シックな名前を披露した人たちと一緒に歌つたり、手拍子をしたりして楽しめた。

道の正しい渡り方や道路に飛び出さないことなど交通ルールを学んだ。

地域の子どもたちの交通安全意識を高めようと、同自動車学校が企画し、光署や市生活安全課などと協力して初めて実施。授業は教習コース内の横断歩道や踏

歩く練習を行った。

その後、元気よく手を挙げて渡った。松林海斗ちゃん

(5)は「楽しかった。道路

を渡るときは車に気を付け

て歩こうと思った」と話した。

人が参加。横断歩道では、

参加者は光署員から正しい安全確認の方法などを教わ

った後、元気よく手を挙げ

て歩く練習を行った。

「ちょっと大きな絵手紙展

が、同市室積村の冠山総合公園で開かれている。15日まで。

畳1枚分の大作から

が、同市室積村の冠山総合公園で開かれている。15日まで。

絵手紙の魅力を知つてほしい」と話している。

午前9時～午後5時（最

終日は午後4時まで）。入

場無料。問い合わせは同

公園管理事務所（電話0

8333・74・33311）へ。

## 看護を身近に感じて

阿知須共立病院「看護の日」イベント

看護の日（12日）にちなんだイベントが13日、山口市阿知須の阿知須共立病院であり、地域の子どもからお年寄りまで多くの人が訪れた。

来場者が看護師に血圧や体脂肪を測定してもらうコーナー、子どもが医師や看護師の衣装を着て記念撮影をするコーナーがあったほか、糖尿病の予防啓発のパネル展示、在宅介護に関する相談受け付け、院内スタッフが持ち寄った日用品のバザーなどもあった。

看護を身近に感じてもらおうと毎年この時期に実施。同病院看護部一般病棟看護主任の落合弘子さん（45）は「皆さんと触れ合え、病院や看護に親しみを感じもらえたと思う。地域に密着した病院なので、何かあれば気軽に診察や相談に来ていただきたい」と話していた。



医師や看護師の衣装を着て記念撮影する子ども=13日、山口市